

木田地区の誇り

食べてみんか 木田の伝統野菜

木田地区では「木田ちそ、板垣だいこん、木田青かぶ」が古くから栽培され、「福井の伝統野菜」に認定されている。しかし、市街地化が進むにつれて栽培農家の減少や高齢化が進んでいる。木田公民館では伝統野菜を絶やさず、若い世代にも知ってもらおうと、郷土学習を開催してきた。子どもから大人までが参加し、種まき・間引き・除草・収穫・料理を体験し、農家の苦労と収穫の喜びを感じ、伝統野菜の特徴や良さを学習している。「木田ちそ」は葉が縮れ、その鮮やかな色と爽やかな香りを活かして、梅干やジュース作り等を楽しんでいる。



「板垣だいこん」は細身で辛味がある大根で、伝統料理の「するめ大根」や「おろしそば」を学習している。「木田青かぶ」は一旦途絶えたが、現在は栽培されている。風味が強く、煮崩れしにくいのが特徴で福井の雑煮作り等に用いられている。



これまでの郷土学習で学んだことをまとめたミニレシピ本「木田ちそをおいしく食べよう」を配布し、多くの方が利用している。学び合いを通して、地域文化への理解や地区に対する誇りと愛着心が育まれている。伝統野菜をぜひ食べてみませんか？



木田の伝統野菜を守り伝える二人 加藤 秀次さん、青山 義弘さん

加藤さんは木田の伝統野菜の生産農家で、『有限責任事業組合ちそのかほり』組合長。青山さんは『板垣だいこんの会』会長。お二人は「多くの人に木田の伝統野菜を食べていただき、その良さや美味しさを伝えていきたい」と話す。

木田公民館

住 所／福井市木田1-1401

電 話／0776-36-0042

交通機関／すまいるバス「春日3丁目」バス停から徒歩2分